

関係機関訪問第 3 弾

帯広近郊就労系障がい福祉サービス事業所への聞き取り調査をスタートしました！



令和 2 年 7 月 27 日（月）
就労支援事業所うたげ（芽室町）
サポートセンター白樺（上士幌町）

令和 2 年 7 月 28 日（火）
九神ファームめむろ（芽室町）
障がい福祉サービス事業所
オークル（多機能型）（芽室町）

就労支援事業所 うたげ（B 型）

立ち上げから 8 年、精神障がいをお持ちの方が多く利用されている、芽室にある就労継続支援 B 型事業所です。お蕎麦屋さんの作業や弁当作りを中心に、個人的なつながりから、今年度は事業所と農家で就職をされた方がいるとのことでした。

利用者 1 人ひとりの目標に向き合って就労につなげることを意識されており、就職先の開拓や就職後のフォローにも尽力されているそうです。

今後は、自身を含めた職員のスキルアップをしていきたいという意気込みも聞かせていただきました。



管理者兼サービス管理責任者の
吉田さんにお話を伺いました

特定非営利活動法人 サポートセンター白樺（B 型）

町内に唯一の就労系障がい福祉サービス事業所として、幅広い対象者の方への関わりをされている活動状況についてお聞きました。中でも、ひきこもりの状態で診断を受けていないグレーゾーンの方との関わりを持ち、事業所の活動に繋がる事例が年間数件あるとお話があり、その後ご本人が外に出る喜びを感じられたり一般就労へと進んだケースもあった様です。人材不足により多様なニーズへの対応に難しさを感じる背景もある中で、対象者の掘り起こしやその後のフォロー等の一連の流れを行政との連携をされつつ、個別の状況に向き合われている事業所の思いについてお伺いできました。



事務局長の小池さんにお話を伺いました

九神ファームめむろ（A 型）

野菜の加工で知られている九神ファームは、知的障がいをお持ちの方が主に利用され、飲食店・お弁当屋さんの仕込みや各店舗での仕事と、作業の幅を広げ活動されています。利用者のほとんどが 6, 5 時間以上勤務され、仕事のやりがいとともに仕事への責任を養いつつ、当事者スタッフ・芽室町とタイアップした企業への就労に結びついているということでした。

また、貫田さんはプロジェクト芽室の事務局を兼任されているということで、芽室町内で就労されている方の定着支援や、福祉から企業、B 型から A 形等の目標に向かってステップアップしていく方の調整を、他事業所とともに行っているそうです。



サービス管理責任者の
貫田さんにお話を伺いました

障がい福祉サービス事業所 オークル（多機能型）

就労継続支援 B 型と生活介護事業所の多機能型で、知的障がいをお持ちの方が多く利用されている事業所です。リスどんのパンが評判なオークルですが、活動の自粛により販売などに大きな影響が出ているということです。

また、もともと知的障がいをお持ちの方の授産施設から成り立った経緯もあり、利用者の重度化・高齢化が課題となっているとのこと。そのため、従来の作業だけではなく、皆さんが携わることのできる作業を生み出すことが必要との話を伺いました。



管理者の成田さんにお話を伺いました

今回は、芽室町と上士幌町に伺いました。今後、音更町、幕別町、帯広市と訪問を進めて参りますので、よろしくお願いいたします